

## 9月20日（日） 礼拝メッセージ「自分フォーカスをやめる」

### 1 キリストにある確信

（エペソ 1:3～4） 神はキリストにあって、天にあるすべての霊的祝福をもって私たちに祝福してくださいました。すなわち神は、世界の基の置かれる前からキリストにあって私たちを選ばれました。それは私たちが御前に聖く、傷のない者となるためです。

（1ヨハネ 3:1） 私たちが神の子どもと呼ばれるために、――事実、いま私たちは神の子どもです。――御父はどんなにすばらしい愛を与えてくださったことでしょう。

### 2 自分フォーカスをやめる

（出エジプト 4:10～17） モーセは主に申し上げた。「ああ主よ。私はことばの人ではありません。以前からそうでしたし、あなたがしもべに語られてからもそうです。私は口が重く、舌が重いのです。」

主は彼に仰せられた。「だれが人に口をつけたのか。だれが口をきけなくし、耳を聞こえなくし、あるいは、目を開いたり、盲目にしたりするのか。それはこのわたし、主ではないか。さあ行け。わたしがあなたの口とともにあって、あなたの言うべきことを教えよう。」

「ああ主よ。どうかほかの人を遣わしてください。」

すると、主の怒りがモーセに向かって燃え上がり、こう仰せられた。「あなたの兄、レビ人アロンがいるではないか。…あなたが彼に語り、その口にことばを置けなら、わたしはあなたの口とともにあり、彼の口とともにあって、あなたがたのなすべきことを教えよう。」

…そのとき、チツポラは火打石を取って、自分の息子の包皮を切り、それをモーセの両足につけ、そして言った。「まことにあなたは私にとって、血の花婿です。」

（ピリピ 2:3～5） 何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに人を自分よりもすぐれた者と思いなさい。自分のことだけではなく、他の人のことも顧みなさい。あなたがたの間では、そのような心構えでいなさい。それはキリスト・イエスのうちにも見られるものです。

### 3 キリストにフォーカスする

（マタイ 14:29～31） イエスは「来なさい。」と言われた。そこで、ペテロは舟から出て、水の上を歩いてイエスのほうに行った。ところが、風を見て、こわくなり、沈みかけたので叫び出し、「主よ。助けてください。」と言った。そこで、イエスはすぐに手を伸ばして、彼をつかんで言われた。「信仰の薄い人だな。なぜ疑うのか。」

（ヘブル 12:1～2） …私たちも、いっさいの重荷とまつわりつく罪とを捨てて、私たちの前に置かれているレースを忍耐をもって走り続けようではありませんか。信仰の創始者であり、完成者であるイエスから目を離さないでいなさい。

（1ヨハネ 4:4） 子どもたちよ。あなたは神から出た者です。そして敵に打ち勝ったのです。あなたの内におられる方は、この世にいるあの者より、はるかに偉大だからです。